

科目名	クラス	講義区分
国際法 <秋集>		
【教員氏名】 軽部 恵子		
【単位数】 4 単位		
【演習概要】 この講義では、国際法の基礎を学びます。国際法がわかると、新聞やテレビの国際ニュースがわかるようになります。それは、国際法が国家の行動を律する世界共通のルールだからです。国際法の勉強には世界史の基礎知識が必要不可欠です。国際法を履修する予定の人は、春学期の国際機構論を履修するか、予め高校程度の世界史を自分で勉強して下さい。国際法の導入部分、国際政治史、国際機構論の前半は互いに似ていますが、それぞれ全く別の科目です。各回の見出しが同じでも、取り上げ方が異なります。この講義では、学生の理解を助けるため、絵画、写真、ドキュメンタリー番組、史実に基づいた映画などの視聴覚教材を積極的に利用します。国際問題に関する重大ニュースは、講義の予定外でも随時取り上げます。また、ドキュメンタリー番組や国内外のメディア（新聞社、テレビ局、通信社）のホームページを教材として使い、メディア・リテラシーを学びます。 外交官、国際協力の現場で働く NGO 職員など、国際法に関連した仕事をする人をゲスト講師に招くことがあります。また、学内で開催される国際法に関連した講演会に参加することがあります。		
【学習目標】 (1) 国際法の基礎知識を修得する。 (2) 国際法の視点から国際ニュースを考察する。 (3) 国際問題の理解に必要な一般教養（歴史、文化、宗教など）を修得する。		
【講義計画】 第 1 回：国際法とは何か 第 2 回：戦争と平和の法(1) 宗教改革から三十年戦争へ 第 3 回：戦争と平和の法(2) アメリカ独立革命とフランス革命 第 4 回：戦争と平和の法(3) ナポレオン戦争とウィーン体制 第 5 回：戦争と平和の法(4) ハーグ平和会議 第 6 回：戦争と平和の法(5) 赤十字国際委員会の設立 第 7 回：国際法の重要原則(1) 合意は拘束する 第 8 回：国際法の重要原則(2) 国際法と国内法との関係 第 9 回：国家(1) 国際法上の国家 第 10 回：国家(2) 属地主義と国籍主義 第 11 回：国家(3) 犯罪人引渡 第 12 回：国家(4) 領域① 領域の得喪 第 13 回：国家(5) 領域② 領土紛争 第 14 回：国家(6) 領域③ 無害通航権 第 15 回：国家(7) 領域④ 通過通航権 第 16 回：国家(8) 領域⑤ 持続可能な海洋資源の利用 第 17 回：国家(9) 領域⑥ 領空 第 18 回：国家(10) 領域⑦ 宇宙空間と核開発競争 第 19 回：国家(11) 国家責任 第 20 回：国家(12) 外交的保護 第 21 回：国家(13) 国籍 第 22 回：条約(1) 条約案の交渉 第 23 回：条約(2) 条約の署名と批准 第 24 回：条約(3) 条約の効力発生 第 25 回：条約(4) 条約の無効と終了 第 26 回：条約(5) 条約と国内法の関係 第 27 回：特別テーマ(1) 日本国憲法と日米安保条約 第 28 回：特別テーマ(2) 終戦と国際法 第 29 回：特別テーマ(3) 核軍縮の国際法 第 30 回：学期末試験とまとめ		
【成績評価の方法】 試験評価：100% 教室内で出席票を配布するのは、受講生が講義への感想や質問、要望等を書くためで、「出席点」にはなりません。また、講義時間内に行う小テストは、成績評価にいったい関係ありません。		
【テキスト】 奥脇直也編集代表『国際条約集 2015』有斐閣、		
【参考文献】 松井芳郎他編『判例国際法』第 2 版 東信堂 2006 年		

国際法学会編『国際関係法辞典』第 2 版 三省堂 2005 年 小寺彰他編『国際法判例百選』第 2 版 有斐閣 2011 年 櫻田嘉章・道垣内正人編『国際私法判例百選』第 2 版 有斐閣 2012 年 尾崎久仁子他編『ブリッジブック国際法』第 2 版 信山社 2009 年 柳原正治他編『プラクティス国際法講義』第 2 版 信山社 2013 年 横田洋三編著『国際社会と法：国際法・国際人権法・国際経済法』有斐閣 2010 年 大沼保昭編『資料で読み解く国際法』第 2 版 全 2 巻 東信堂 2002 年 島田征夫編著『国際法学入門』成文堂 2011 年 島田征夫編『学習国際条約・判例集』成文堂 2011 年 杉原高嶺『基本国際法』第 2 版 有斐閣 2014 年 鳥海靖編『もういちど読む山川日本近代史』山川出版社 2013 年 山崎広明編『もういちど読む山川政治経済』山川出版社 2010 年 藤原昌高『からだにうれしい魚の便利帳』高橋書店 2010 年 宮下規久朗『モチーフで読む美術史』筑摩書房 2013 年 成美堂出版編集部編『一冊でわかるイラストでわかる図解宗教史』成美堂出版 2008 年 マクニール『戦争の世界史』全 2 巻 中央公論新社 2014 年
【準備学習の指示】 教室で毎回配布される講義レジュメの指示に従って、教科書の関連部分および参考サイトで予習・復習してください。
【備考】 ①履修登録する前に、教員作成の「講義運営のルール」を必ず読んで下さい。 ②勉強の方法については、教員作成の「国際法・国際機構論を履修する皆さんへ（勉強のガイド）」を参照して下さい。 ③教科書は毎回使います。教科書を持参しない学生に対する配慮はありません。